



第2回WG検討資料

令和5年10月2日
第2回 加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームワーキング

第2回WGの内容

1 到達点

- ①まちなかエリアの現状認識、課題の共有
- ②まちづくりの方向性、将来イメージの共有

2 議事内容

- ①第1回WGの振り返り
- ②未来ビジョンの検討に向けた資料説明
 - ・WGでの意見を踏まえたエリアの現状認識の再整理
 - ・まちなかエリアの課題とまちづくりの方向性
 - ・まちなかエリアの将来イメージ
 - ・まちなかエリアのコンセプトイメージ
- ③荻野委員からのコメント
- ④現状認識・課題・将来イメージ・コンセプトイメージについての意見交換

第1回WGの振り返り～まちなかエリアの未来

若者世代の目線で、ありたいまち・暮らしの意見を頂きました



若者が利用しやすお交流の場・居場所のある暮らし

リーズナブル利用できる場	お金がなくても楽しめる	学生でも入りやすい店	大学生が入りやすいバー
学生向けの飲食	ガスト、マックで放課後	お茶する、集まる場がある	授業終わってから飲みに行く
学生ターゲットのお店	マックがいいの場	飲みに行く場がある	大学生同士が学校の近くで飲める店
チェーン店がない。酒を飲むところ	安く飲める場所	三条や新潟で飲む人も	コスパの良いお店
プリクラ、カラオケ	学生が電車をまとめるタダの場所	新潟と三条は半分若干、三条方面が多い	

座れる場所がたくさんある	専門書がある図書館(広域利用)	長時間居座れる居心地の良い図書館	大きい公園がある(人と目が合わない)
フリースペース、フリーwifi、居場所がある	メリ亞3階	風景にまぎれられる心理的安全性のある屋外の場所	ダンスグループ等が練習で使ったりできる
河川敷	加茂川の河川敷を活用	地域にどっぷりつかれる場所	座れる場所 wi-fi フリーなスペース

外から人を呼べる場所、お店	加茂高生をターゲットにした商店が近くにない	遊ぶ場所、飲む場所、目的になる場がある	古着屋	楽しめる場所
---------------	-----------------------	---------------------	-----	--------

活躍の場や機会のあるまち

学生活動のアンテナショップ(例)農林	加茂市内の農林業の産直のお店	学生の活動が認知、応援されている
まちとして学生の活動を応援する	自己現実の環境がある	やっていることが評価される

就業の場

売上げをあげられる	学びが卒後生かせる(農林→農業)	バイト先
-----------	------------------	------

交通・移動

電車利用者はスポーツ、運動部が多い	駐輪場を利用	大学のバスを利用	乗降で4000人/日くらい
加茂高校西口を使う	駅利用者定期9割弱、7割くらい通学	歩いて大学へ行く(まちなかを通らない)	意外と公共交通を使っていない

住環境

大学周辺に住む人もいる	まずは住んでいる人にとつて心地がよい	外の人が回遊できる歩かせるルートと店
-------------	--------------------	--------------------

第1回WGの振り返り～まちなかエリアの未来

子育て世代の目線で、ありたいまち・暮らしの意見を頂きました



子どもと過ごせる、家族で楽しくおでかけできる暮らし

自然に囲まれた広場で子どもと伸び伸びと遊べるスペースが欲しい	公園がある(キレイなトイレ付)	子供:あそべる、親:寝、子供・親:ネット環境、食べる	休日親子で過ごせる場所(公園)
ショッピングモール(家族で買い物を楽しめる)	レストラン	親と子供共有の居場所→また連れていくとなる	子どもと一緒にまちなかで楽しむ(思い出をつくる)ことができる
スポーツ観戦できる場所	図書館	スポーツ施設	スペースの中でゆっくりできる場所(カフェ、食事できる所)
加茂川を見ながら食事を楽しめる空間	散歩コース		

子育て世帯に優しいまち

バリアフリー、ベビーカー対応	学童保育	子育てで困った時に助けてくれる場所や活動がある
熱を出した子どもを預かってもらえる	働いている時に安心して子どもをあずける場所がある	医療施設
子ども預かって買い物できるとよい	子育てる親どうしが交流することができる場所がある	子どもがさわいでもおこられないような雰囲気や場所がある

子どもが楽しめるまち

雨や雪でも安心して子ども達が遊べる場所	体を動かせる場所がある	駄菓子屋	遊具がもう少しあると良い(加茂山公園)
---------------------	-------------	------	---------------------

家族のお出かけで使いやすい駐車場

加茂山公園、メリアはとめやすい。多目的広場の駐車場もう少し使いやすく	パークアンドライド・GOできる駐車場(メリアも)	付近に駐車場あり	広い駐車場(ゆとりをもつてとめられる)
------------------------------------	--------------------------	----------	---------------------

暮らしやすさ

生活に関する情報を得やすい	ライフイベントの情報が欲しい	安価に生活品をそろえることができる
---------------	----------------	-------------------

子ども教育

塾	教育、習い事の拠点、会議セミナー、イベントスペース(例)塾、ピアノ、水泳、体操
---	---

安全安心

治安がいい		
夜も安心できれい		
便利(来訪者にも)		
拠点としてハブとして高速鉄道、高速バス、ビジネスホテル	交通の便がいい	コンパクト、スマート、ハイテク(例)無人EV、JR and 道の駅

第1回WGの振り返り～まちなかエリアの未来

シニア世代の目線で、ありたいまち・暮らしの意見を頂きました



コミュニケーション・交流のある暮らし

昔話に花を咲かせやすい

近所の友達がふらっと寄ってくれる

高齢者になっても働く場所(コミュニティに参加するツールとして)

コミュニティを作りやすい空間

早朝カフェ、ウォーキングの途中で立ち話など

デジタルネイティブなシニア層が集う場所

サークル活動で街のガイド

人が集まる憩いの場所(公園、ゲートボール、運動)

高齢者へコミュニティへの参加する事の重要度をセミナーで説明(孤独の大変さを説明)

- ・商店街(駅～新町)の各所休憩スポット
- ・ウォーキングのコースとして活用
- ・カフェなど人と話ができる場所
- ・65～69歳の健康な人がターゲット

健康で安心できる暮らし

明るいが陽が当たらない(熱中症防止)

皆で見守りができるほうが多い

福祉施設が充実、医療施設が充実

健康で過ごせる環境

介護について将来的な安心感がある

市役所と高齢者向け病院、マンションの合築

高齢者向けのシェアハウス、見守りサービス

アクティブで安全に活動(運動)できる場所がある

のんびりと佇める場所がある

健康年齢を維持するために、健康でいることへの評価をしてあげる(買い物ポイントのプレゼント)

家族のつながりのある暮らし

孫と遊びやすい、孫が遊びに来てくれるところ

子供、孫が遊べる場所があるといい

息子夫婦、孫と定期的に会い、山、川、商店街で休日を過ごす

2世帯居住(都会からの移住含む)への厚い補助、もしくは同居手当

移動や日常生活がに困らない暮らし

子供に免許を返納しろと言われない環境

自転車道路が整備されている

デイケアの車から降りやすい

公共交通が充実

まちなかエリアで生活ができる(買い物、移動)

自分の時間がある暮らし

孫を任せられすぎない

趣味に熱中できる日常

観光客の受け入れ

市内在住者と市外來客者のゾーニング

商店街に宿泊施設

安らぐ場所のある暮らし

川沿いのテラス席

まち中で佇める場所

商業などの後継者

- ・ポジティブなM&A(事業承継)
- ・起業支援

第1回WGの振り返り ～今後の賑わい創出に向けた取組の例

まちなかエリアの活性化に必要だと思われる取組について意見を頂きました

項目	内容
1. 地域のPR、情報発信	ブランディング戦略・プロモーション検討／観光・まちなか情報の発信／エリアの魅力の掘り起こし／案内・サイン・看板設置管理／広告事業
2. 賑わいの創出活動	公共空間を活用したイベントの企画・調整・広報／エリア外（七谷地区等）とのコラボイベント
3. コミュニティツーリズム	ガイド運営／民泊など簡易な宿泊サービス／回遊ルート
4. 起業・創業・就業支援・雇用創出	コワーキング・シェアオフィス／空き店舗活用／チャレンジショップ／テナント誘致／ワークシェアの仲介
5. 居場所等の運営	学生専用フリースペース／メリアの遊休スペース活用／空き地・空き家活用
6. モビリティーサービス	電動レンタサイクル／カーシェア／スローモビリティ
7. コミュニティ・ビジネス	宅配サービス／スポーツクラブ運営
8. 駐車場運営・活用	駐車場の管理・運営・使いやすさ向上
9. 地域の安全・安心の維持・向上	防災・防犯・見守りパトロール／よろず相談対応
10. 地域資源の維持・活用	歴史的建築物のブラッシュアップ・有効活用／景観整備
11. まちづくりの担い手育成・組織化	NPO・ボランティア・プレイヤーの中間支援／域内事業者のコミュニティ運営／担い手情報バンク・マッチング
12. DX・シビックテック	人流データの把握・活用（AIカメラの活用もできる）

エリアの現状・課題

強み

- ・コンパクトで歩きやすい環境
(全天候型ウォーカブル空間の商店街、商店街～加茂山～加茂川)
- ・人口比に対する駅利用者数が多い（高校生等若者）
- ・賑わい創出に活用できる歴史的文化財が点在
(青海神社、歴史的建築物、谷通り：懐かしい雰囲気の街並み等)
- ・商店街は個性的な店舗多数で、スーパーや医療施設等の日常生活を支える都市機能が集積
- ・魅力的で癒しのオープンスペースである加茂川、加茂山など

弱み

- ・ヒトの滞留や回遊が生まれにくく、賑わい創出や消費活動に結びつかない。
(例：駅利用者が商店街を利用しない、若い世代の加茂の良さが知られていない、若者の居場所が不足、まちなかの情報が発信されていない、鉄道で駅の東西が分断等)
- ・観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない。
(例：宿泊施設、駐車場の不足・認識しにくい、加茂の名物を購入できる店舗等)
- ・商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ・バリアフリー化できていない駅舎
- ・加茂山公園は家族のお出かけ場として魅力不足
- ・子ども連れで過ごせる場所が不足
- ・駐車場が使いにくい（狭い）、わかりにくい

社会情勢の変化や新たなニーズ

機会

- ・コロナ禍での社会変容
(例：屋外利用価値向上、リモートワーク、DX等)
- ・移住、二拠点居住トレンド
- ・地方創生ブーム
- ・インバウンド、国内観光需要の復活
- ・旅行スタイルの少人数化・個人化
- ・高齢化を背景とした歩いてく暮らせるまちづくり、健康まちづくりへのニーズなど

脅威

- ・高齢化・人口減少、世帯減少
→店舗廃業リスク
→空き家・空き店舗・空きスペースなど既存ストックの遊休化
- ・単身高齢世帯（孤独な高齢者）の増加
- ・若い世代の転出超過の継続
- ・施設の老朽化
- ・小売業の販売方法変化（高齢店主ではECやDX対応が難しい）
- ・オーバーツーリズムへの懸念など

まちなかエリアの課題とまちづくりの方向性

商店街

【課題】加茂駅を利用する若者（高校生等）は多いものの、まちなかを素通りしている

【方向性】若者を駅からまちなかに呼び込む機能の充実

【課題】既存の賑わいは商店街を軸とした単調な動線となっており、回遊空間としての奥行に欠ける

【方向性】みず（加茂川）・まち（商店街）・みどり（加茂山公園）をつなぐ軸の形成

【課題】1.5kmに及ぶ全天候型歩きやすい環境である一方、空き店舗・空き地が増加傾向

【方向性】賑わい創出や市民の活動・活躍場所としての空き店舗・空き地の有効活用

暮らし

【課題】居住者の高齢化が進行しており、高齢者が暮らしやすい環境を形成することが必要

【方向性】誰もが歩いて健康・便利に暮らせるまちなか居住

交通

【課題】鉄道で市街地が分断されており、東西の市街地の連携がなされていない

【方向性】JR加茂駅の都市交流機能の強化と東西の市街地間での新たな人の流れの創出

水・緑
オープン
スペース

【課題】公共駐車場は、425台（休日対応）の容量があるが、イベント等のピーク時は不足

【方向性】駐車場の有効利用する工夫や空き地等の未利用スペースの有効活用

【課題】加茂川や加茂山公園はイベントなどで活用されているが、日常的な賑わいに活用されていない

【方向性】加茂川を軸とした賑わい・交流創出

【方向性】加茂山公園を拠点とした賑わい・交流創出

歴史文化

【課題】蔵や町屋建築、旧庄屋建築、谷通りなど趣のある通りが残っているが観光・回遊資源としての活用が不十分

【方向性】点在する歴史的資源を回遊拡大の交流機能として活用

【方向性】古き魅力や懐かしさを感じるウォーカブル空間の形成

まちなかエリアのコンセプトイメージ



まちなかエリアの将来イメージ

- 歴史文化など
観光・交流資源
- まちなか小広場

みず・まち・みどりをつなぐ軸
(回遊に奥行きを与える)

若者を駅から
まちなかに
呼び込む機能の充実

東西市街地での
新たな人の流れによる
賑わい創出

既存の商業・飲食
集積

JR加茂駅の都市交流機能
の強化

加茂山公園を拠点とした
賑わい・交流創出

駐車場の有効利用する工夫や空き地等の
未利用スペースの有効活用 (エリア全体)

加茂川を軸とした
賑わい・交流創出

賑わい創出や市民の活動・活躍場所とし
ての空き店舗・空き地の有効活用
誰もが歩いて健康・便利に暮らせる
商店街の活性化

点在する歴史的資源を
回遊拡大の交流機能
として活用

古き魅力や懐かしさを感じる
ウォーカブル空間の形成

500

Esri, Intermap, NASA, NGA, USGS